

# 日野の歴史と民俗

139

## 事八日(ことようか)

2月8日と12月8日の行事のことを、「事八日」といいます。

2月8日を「事始め」、12月8日を「事納め」ということが多いのですが、東京をはじめ関東地方では、逆にすることもありません。2月8日を事始めとする場合は、1年の農作業などの始まりを意味し、12月8日を事始めとする場合は、正月の行事が始まることを意味することになります。

最近はこの行事を行うことは少なくなりましたが、かつては日野でも行われていました。この日のことを「八日蔵(よるかぞう)」とも称し、「八日蔵の団子」といって、米粉の団子に、餡や燕(かま)をまぶして食べました。

落川の五十子敬齋の日記(明治41〜昭和3年)にも、ほとんど毎年のように、「八日蔵」の行事や団子の記述が見られます。

この日には、一つ目小僧(東京)やミカリ婆さん(神奈川)などの妖怪が来るといふ言い伝えがあり、これを除けるために、目籠を門口に掲げたり、履物を表に出さないようにするとよいといわれました。針供養もこの日の行事です。

事八日は、物忌み(ものいみ)：心身のけがれを除くこと)をする特別な日と、意識されていたようです。